

せたがやの文化財

No.033

編集 世田谷区教育委員会事務局
発行 生涯学習・地域学校連携課文化財係

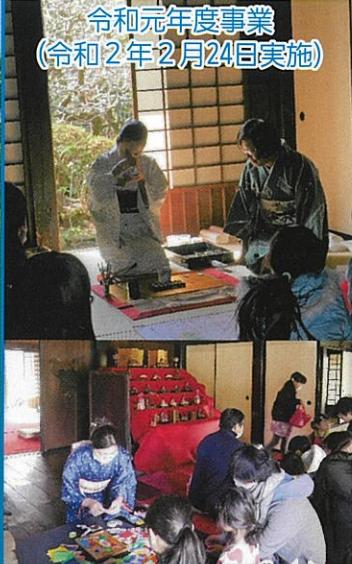
〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
Tel 03-5432-2726 Fax 03-5432-3039
<https://www.city.setagaya.lg.jp>

発行日 令和3年3月31日

再生紙を使用しています



撮影 清水 襄



令和2年度事業 (令和2年12月20日実施)



大場家住宅特別見学会を実施しました

大場家住宅（世田谷1-29-18）は、今から約280年前に建てられた在地代官の住まいで現存するものは全国的にも数少ない貴重な存在となっています。1978年に文化財的価値が認められ住宅建造物として都内初の国の重要文化財に指定されました。

令和元年11月には茅の葺き替えと耐震工事等が完了し、公開活用の幅が広がりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公開活用は控えておりますが、所有者である（一財）代官屋敷保存会様の協力のもと、令和2年12月20日に公開事業として大場家住宅特別見学会を実施しました。当日は区学芸員による大場家の歴史等の解説

や建物の解説と普段見ることができない2階座敷の開放のほか、建物を維持するためにかまどに火入れをし、茅葺き屋根を燻す様子、防火用放水銃による放水など、文化財の維持管理や保存の様子等を174名の方に見学していただきました。

今後は所有者様と協力し、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いつつ、特別見学会や令和元年度に好評だったお香体験や貝合わせなどの親子ワークショップなどの事業を検討し、引き続き地域の財産である文化財を適切に次世代に継承していくために、文化財の普及・啓発に努めています。

せたがや 歴史文化物語

日時：令和2年10月18日(日)

テーマ：野毛大塚古墳と等々力渓谷

区内には歴史や文化を伝える様々な文化財があります。

文化財の価値や魅力は、まわりの環境や関連する文化財と切り離すことはできません。そこで、文化財と文化財を取り巻く環境等の物語をつくり、文化財の価値をわかりやすく発信していくという「せたがや歴史文化物語」の取り組みを行っています。

令和2年度は「野毛大塚古墳と等々力渓谷」というテーマで、文化財と取り巻く環境について、区民の皆様と一緒に現地でまち歩きとワークショップを実施しました。



等々力渓谷内の地層について解説を聞く



地層の観測



野毛大塚古墳の墳頂で質疑応答



不動の滝で歴史を解説



三号横穴の内部・出土品説明



文化財の魅力発信について考えました

これまでのせたがや歴史文化物語冊子の紹介

平成29年度からせたがや歴史文化物語のワークショップを行い、その成果として2冊の「なぞなぞウォーキング」を刊行しています。なぞを解きながら埋もれた歴史を再発見します。

・なぞなぞウォーキング 大山道

大山道とは、江戸時代の人々が相模国（現在の神奈川県）の大山に通った道のことです。この冊子では三軒茶屋から二子玉川までのルートを紹介しています。

「そもそも大山に何をしに行ったの？」

「大山道が分かれているのはなぜ？」等のなぞに挑戦してみてください。

区内各図書館や出張所、まちづくりセンターなどで無料配布しています。ぜひ地域のまち歩きなどにご活用ください。



・なぞなぞウォーキング2 かつての川～次大夫堀～

次大夫堀とは、江戸時代に小泉次大夫によって作られた用水路のことです。六郷用水とも言います。この冊子では、喜多見駅から岡本公園民家園までの次大夫堀をめぐるルートを紹介しています。



学校教育との連携

世田谷区の歴史を次世代に継承していくため、土器や石器、民具などの文化財などを活用した特別授業を区内小学校を対象に実施しました。

郷土歴史文化特別授業
土器や石器を用いた体験授業



資料館のオンライン授業



民家園の授業
民具を用いた授業の様子



世田谷デジタルミュージアムの紹介



世田谷デジタルミュージアム

世田谷区では、区内の豊富な文化財や関連資料をデジタルアーカイブ化し、誰もが気軽に貴重な文化財に触れることができる「世田谷デジタルミュージアム」を公開しています。郷土資料館などの施設に収蔵されながら、頻繁に展示できずにいた歴史的価値の高い文化財などを収録しているほか、ネット上の特別展示「デジタルミュージアム特別展示」や「世田谷の歴史略年表」などを公開しています。

サイトへのアクセスはこちらから⇒
<https://setagayadigitalmuseum.jp/>

お問い合わせ：世田谷区教育委員会事務局
生涯学習・地域学校連携課 文化財係 TEL：03-5432-2726

